

岡山県

せいきょうう連会報

2005

新年あけまして
おめでとう
ございます

CONTENTS

新年メッセージ	
会長理事	1
岡山県知事	2
各界の方々	3~9
ネットワーク紹介	10
岡山県生協連の取り組み	11~12
会員生協この一年	13~14
会員生協の取り組み・おもな行事予定	15
県への要望事項ほか	16
県内の協同組合・諸団体とともに	17~18
県生協連の紹介	19
会員生協紹介	20~22

岡山県生活協同組合連合会

新年の ごあいさつ

Okayama Co-op Union Meeting 2005

平和とよりよい暮らしのために



岡山県生活協同組合連合会
会長理事
吉永紀明

新年明けましておめでとうございます。
会員・組合員の皆様には、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、岡山県はじめ各市町村の行政の皆様、県議会はじめ各議会の皆様、県消団連や県民平和のつどい実行委員会などにご参加の団体・組織のみなさまには、昨年1年間本当にお世話になりました。

深く感謝を申し上げます。

さて、中国への輸出増などで、日本の景気も上向きと言われてきましたが、昨年12月には日銀短観で、1年9ヶ月ぶりに景気の先行き不安が出されました。

イラク戦争の長期化、自衛隊の派遣延長、さらに原油高、円高ドル安などの影響を与えています。

また、所得税と住民税の定率減税の縮小・廃止、社会保険料のアップが示され、年金制度への不安や2007年度以降の消費税率アップの論議など将来の暮らしに対する不安が拡大しています。

日本の流通業界は、消費者の買い控え節約志向と低価格志向の進む中で、競争の激化で本格的な再編の時期を迎えています。

岡山県でも、県外資本のスーパーの進出で地元企業が苦戦を強いられています。

暮らしを巡る状況でも、不当請求や振り込め詐欺など消費者被害も拡大しています。

また、食の安全・安心についても、不正表示や相次ぐ台風被害による野菜の価

格高騰などもありました。

そんな状況の中で、昨年日本生協連の中四国地連が設立され、新たな連帯活動がスタートしました。

まだ運営について試行錯誤の状況ですが、各会員生協の地連への結集と活用が必要だと思います。

岡山県内の各生協の皆様のご協力によって、総会で決定した課題は着実に執行されてきています。

しかし、事業環境を巡る状況の厳しさを反映して、経営的には大変厳しい内容で推移しています。

組合員の暮らしの実態と願いをしっかりと受け止めて、この厳しさを次の飛躍のバネにしていきましょう。

また、中四国9県の地域購買生協による事業連帯もスタートします。ぜひ成功させてほしいと思います。

消費者基本法の制定を受けて、県の消費生活条例の改定作業が進行しています。県民の暮らしの安全安心のためによりよい条例になるように取り組んでいきます。

また、個人情報保護やコンプライアンス経営にも努力をします。

いのちと暮らしと健康を守るために、県内の生協が一致協力して取り組みます。ご支援をよろしくお願いします。



新年明けましておめでとうございます



岡山県知事
石井正弘

新年あけましておめでとうございます。岡山県生協協同組合連合会の会員・組合員の皆様には佳き初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

県生協連におかれましては、個人消費の低迷等により経営環境が依然厳しい状況の中、県民生活の向上と地域社会の発展に貢献しておられることに対しまして、心から敬意を表する次第であります。

また、昨年は、県政の各般にわたり、格別のご理解とご協力をいただきましたことに、心からお礼申し上げます。

私は、歴史的な変革の時代に、引き続き三期目の県政を担当させていただくことになり、その責任の重大さに身の引き締まる思いで新年を迎えるました。「おかやま夢づくりプラン」に基づき、夢と希望にあふれる「快適生活県おかやま」の実現に向け、情熱県政の推進に全力を尽くしてまいりたいと決意を新たにしているところです。

さて、私は、知事に就任して以来、県民の皆様との対話を重視する開かれた県政を基本に、「夢づくり県政」を進めてきました。その中で、県民の皆様の元気な地域づくりに接する一方、依然厳しい地方の経済情勢や過疎化、少子・高齢化のため多くの方々が将来の生活や社会に不安を抱えていることを直接肌に感じているところです。こうした状況に対応するため、聖域なき構造改革を国と地方が一

体となり推し進めなくてはなりません。

私は、このような時代の流れを的確にとらえ、地域の知恵と力を結集し、皆様と共に行動すれば、必ずや県民一人ひとりが幸せを実感できる社会が実現できるものと確信しております。幸いにも皆様との夢づくりに向けた協働の取り組みは着実に広がっています。

この足取りを確かなものとするために、「岡山元気づくり・三つの創造」政策として、「活力ある産業の創造と雇用の確保」、「将来の地域社会を支える人づくり」、「県民の生涯にわたる快適で安全・安心な生活の確保」の創造を、県民力を結集した「人の和」で進め、「産業」や「人」、「まち」をもっと元気にしていきます。

さて、今年はいよいよ「晴れの国おかやま国体・輝いて！おかやま大会」が開催されます。「195万人のスクランム」をキヤッチフレーズに県民の総力を結集し、簡素な中にも真心のこもった、岡山らしい魅力と感動にあふれる大会となるよう全力で取り組みます。皆様のご理解とお力添えをお願い申し上げます。

最後に、岡山県生活協同組合連合会の会員並びに組合員の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

岡山県議会議長・

年頭のご挨拶



岡山県議会議長
千田 博通

新年あけましておめでとうございます。生活協同組合の皆様には、新春を清々しくお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

皆様には、日頃から環境、福祉等、各種分野に幅広く活動され、県民福祉の向上に多大な御尽力を賜っているところであり、深く敬意を表するものであります。また、県政並びに県議会に対しましても、温かい御理解と御協力をいただきおり、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は、紀宮清子内親王殿下のご婚約内定など慶事がございましたものの、岡山県に於いても相次ぐ台風の襲来、また新潟県の中越地震発生など自然災害が全国的に多発し、多くの方が被害に遭われました。被災された皆様にお見舞い申し上げます。一日も早い復旧を心から祈念申し上げる次第であります。

県内に目を転じてみれば、昨年は、市町村合併により、新「高梁市」、「瀬戸内市」、「吉備中央町」の誕生、待望の県立図書館の開館、苦田ダムの完成、岡山空港発着の上海線・ソウル線の毎日運航化など特筆すべき年ともなりました。ささやかながらも、県勢の発展にお役に立てたかなと幸せを感じています。

一方、経済動向は、全体としては緩やかな回復基調にありますものの、地方においては必ずしも景気回復を実感できる状況ではなく依然厳しいものがあります。

こうした状況を受けて、本県では行財

政改革を断行し、その一環として、今年4月から現在9つある地方振興局を3つの県民局・6つの支局に再編、平成21年度の完了を目指して2段階の計画をスタートさせるなど、「快適生活県おかやま」の実現に向けた、さらなる飛躍・発展を遂げる為に厳しい選択をしています。国・地方とが対等という分権型社会の移行に従い、「三位一体の改革」という新しい取り組みは、住民の意向を的確に把握し、しっかりと論議し、地方にとって良いことばかりでなく、自己責任という義務と共に自己決定という自由を得ることを認識しながら、県勢発展に今後とも最善の努力を致します。私達は、県民の皆様に議会本来の役目をお示ししながら、信頼される議会を目指し、改革に取り組んでいく所存であります。一層のご支援、ご鞭撻、並びにご協力のほどお願い申し上げます。

本年は、待望の「晴れの国おかやま国体」及び全国障害者スポーツ大会「輝いて！おかやま大会」が開催されます。来県の皆様を温かくお迎えさせて戴き、さわやかな印象をお持ち帰り戴き、再び訪れたい岡山県としてありたいと思いますと同時に、選手の皆様には、平素の実力を十分に発揮してもらいたいものです。最後になりますが、私達議会は執行部と共に県民の幸せを目指した県政を進めて参ります。皆様が、ご多幸の一年でありますことを祈念致します。

あ い さ つ

き 派 代 表 のみ な さ ま

新年明けましておめでとうございます。



自由民主党県議団
団長
井 手 紘一郎

明けましておめでとうございます。輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

生協連の皆様は、常に消費者保護の立場から、様々な事業を推進されておられます。その中で、消費者保護基本法の改正の運動を強力に展開されてこられたのであります。その運動の成果が実り、実に36年ぶりに大幅な改正が行われ、昨年6月に公布、施行されたところであります。この改正は、商品の安全性や環境への配慮を重視し、安全確保を「消費者の権利」とし、商品やサービスを合理的に選択できるよう、情報提供や教育の機会が確保されるべきだとしています。この改正基本法により、急増する悪徳商法トラブルや食品の偽装表示問題が減少すること

を願っています。

一方、食の安全、安心に対する関心が高まっており、県においても、知事を本部長とする「岡山県食の安全推進本部」を中心に、全庁的取り組みが行われています。その取り組みの一つが、地産地消運動であります。生産者の顔が見え、安全、安心で、しかも、新鮮な農林水産物が提供されるという点で、消費者から大いに喜ばれています。更にトレイサビリティの対象品目も拡大すると共に、食品偽装表示や輸入食品の残留農薬問題にも、真剣に取り組んでいきたいと考えています。

生協連が取り組まれている範囲は大変広く、福祉、環境、平和の問題にも及んでいます。今後共益々御活躍されますよう、ご発展をご祈念いたしまして新年のご挨拶といたします。

新年明けましておめでとうございます。



民主・県民クラブ
団長
鈴木一茂

明けまして、おめでとうございます。

昨年は、地震や台風等、まさに“災”の一年で、とりわけ16号、18号、23号と立て続けに上陸した台風による被害は、自然災害とはいえ、異常でした。食についても、BSEや鳥インフルエンザから、つい最近では、スギヒラタケに毒性が発見されたりして、異常であります。スギヒラタケは、古くから日本人が食べただけに、環境変化に、その原因があるとの説もうなづける気がします。

かように、現代文明が私たちの食文化をも脅かしていることに、驚然とすると同時に、深刻な事態であると受け止めています。

そのような中で、政府が“食にこそすべての教育がある”とのことで、食育基本法案に取り組まれることには、大いに

期待しています。

食はそもそも、私たちの生命線で、それぞれの年代層に応じて、自然界から摂取してきており、民族の文化でもあります。

若年層には、食の本質的な知育をし、本物の味を！

壮年には、親から引き継いだ伝統食を伝承し、DNAにやさしい民族的な食文化を！

シルバーには、楽しい食事で生きることへの積極さを！

と各年代に適した“食”的元で、気持ちよく生きる快適ライフを共に考えていかなければと思います。

生協の皆様には、私達の食育に対し、個人の生産者だけでなく、JAなど、より多くの商品に光を当て、地産地消を進める中、地域の食文化、自然の味わいを店頭を通じて、ご提供いただくことをお願いし、私の新年の挨拶とします。

本年もよろしくお願ひいたします。

新 年 の ご あ い さ つ

岡山県議会会派代表のみなさま

新年を迎えるにあたって



公明党岡山県議団
団長
高橋英士

食品メーカーの偽装表示事件以来、消費者の「食」への不信感は一気に高まり、今や食の安心・安全は行政の最重要課題の一つとなっています。その後も不当表示は後を絶たず、最近ではオーストラリア産小麦粉を80%使っていたにもかかわらず、県特産小麦粉100%使用と表示したり、ブラジル産鶏肉を「広島産」とするなど、不当表示が相次いで発覚していることは誠に残念です。

こうした不当表示を発見することは大変難しいことですが、岡山県では昨年から「食品表示ウォッチャー制度」をスタートさせています。

平成16年度の上半期の活動実績によ

れば、延べで718店舗を調査した結果192店舗において不適正との報告がなされ、そのうち最も多かったものが生鮮食品の原産地が欠落、不十分、不適切というもので130店舗あったことが報告されています。こうした報告を受けた県では消費生活センターや振興局が再調査を行い、その結果33店舗について改善指導を行っています。

食品を扱う人々のモラルに任されない現状がある以上、私たち消費者の厳しい監視の目が必要であり、今後ともこうしたウォッチャー制度の更なる充実に取り組んでいかなければならぬと考えています。

最後になりましたが、皆様のますますのご活躍を祈念し、新年のご挨拶とさせて頂きます。

新年明けましておめでとうございます。



日本共産党県議団
団長
武田英夫

最近は「災害は忘れずにやってくる」と言われるように、昨年は、新潟県中越地震や台風の連続襲来などが相次ぎ、「住民のいのちと安全を守る」政治のあり方が根本から問われた年でした。

特に被災者支援のあり方を巡って、10年前の阪神大震災の際、皆さんが提起した「自然災害などの被災者支援のあり方の見直し」の提起は、現在も生きている大きな課題であり、今年こそ、被災者支援の根本的見直しに全力を挙げることをお誓いするも

のです。

さて、昨年は毎日のように「食の安全」「消費者被害」が話題になりました。岡

山県においては、国の消費者基本法改正を受けて、「消費生活条例の改正」が議論になります。この点でも、生協のみなさんの声を反映させるよう努力するものです。

最後になりますが、今年の干支の「酉」は、「人間に時間を知らせる動物」の意味があるそうです。人間に危険を知らせる意味もあるとのこと。21世紀になっていきに戦争への拍車が掛かり始めた感がある今日、時代の動きに警鐘を乱打し、憲法9条を生かして平和な世界を築くよう力を合わせようではありませんか。

新年のごあいさつ

新年を迎えるにあたって



日本生活協同組合連合会

会長

小倉修悟

新年明けましておめでとうございます。

世界は21世紀のスタートから、中東を始めとする各地において憎悪と対立の連鎖が止まず、テロや武力攻撃が続いている。特にイラクでは国と社会の再建が進まず、「戦争終結」後も多数の市民が命を落とすなど、更なる苦難が続いている。私たちは、国連を中心とした協調と相互理解の促進によって、平和な社会が一日も早く再建されることを心から願うものです。

振り返りますと2004年は、全国的にかつてない規模の自然災害に見舞われた一年でした。西日本を中心に深刻な台風被害が続いた後、新潟県中越地方で大地震が発生し、多くの方が被災されました。被災地の皆様方には心よりお見舞い申し上げます。同時に、このような大規模災害が発生した際に、生協の仲間が現地にかけつけ、地域・組合員・地元の生協に対する支援が速やかに取り組まれるようになったことは、大変心強く頼もしいことです。「被災地に生協あり」と新聞報道された阪神淡路大震災から10年、いざという時には全国の生協が心をひとつにできる強さをあらためて確認し、様々な支援とご協力に感謝申し上げたいと思います。

さて、日本経済はハイテク家電への需

要等を中心に景気回復過程に入ったといわれますが、生協事業の中心である日常消費関連のマーケットは縮小し、一世帯あたりの平均所得は2003年までに6年連続低下しています。第9次全国中期計画の初年度と位置付けた2004年度は、生協の事業にとって供給高と経常剰余の前年確保が容易でない厳しい状況となりました。

2005年日本生協連総会に向け、現在、新ビジョンが全国で検討されています。急速に進行する少子高齢社会の中で、まもなく日本の人口は減少に転じ、日本の社会と国民の暮らしが大きく変化します。新ビジョンは2010年を生協運動にとっての大きなターニングポイントとして設定し、生協が社会に意義ある組織として存在しつづけるために、事業と活動の組み立てなおしと進化によって、新たな成長への道筋を具体的に踏み出そうとするものです。

事業・経営構造改革のスピードを速め、強固な事業連帶の構造を全国的に確立することが必要です。足元をしっかりと固めながら、2010年に向けて生協の21世紀理念「自立した市民の協同の力で人間らしい暮らしの創造と持続可能な社会の実現」のために、志を高く持ち全国で強靭な生協づくりを進めましょう。

新 年 の ご

協同組合・友誼団

新年明けましておめでとうございます。



岡山県農業協同組合中央会
会長
村上進通

皆様方には輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。今、我々の「食」は、内にあっては担い手の減少、外からは貿易の自由化等、危機的状況にあります。私共JAグループは、県民の皆様の「食」を確保するとともに、安全・安心な農畜産物づくりに組織をあげて取り組んでおります。また、「農」の現場では、日々、農家の皆さんのが“丹誠”込めて、生産に勤めています。中四国一の農業県おかやま。岡山米をはじめ、白桃、マスカット、ピオーネ、岡山和牛肉、牛乳など多様な素晴らしい産物を生むおかやま。

新しい年、私共は、(1)厳しい環境の中、輸入品の増大にひるむことなく、マスカットやピオーネなどの輸出戦略による「攻めの農業へ

の転換」。

- (2) 1次產品を県内の2次、3次産業の皆さん的手による製品化、販売等による「自立的総合産業化」。
- (3) 若く、たくましい、新たな担い手の確保による「力強い農業の継続的運営」。
- (4) 経済事業改革など「JA自らの改革の断行」。
- (5) そして、何よりもこの伝統ある吉備の國の大地が育んだ全国に誇る農畜産品を県民の皆さんにご愛用いただく「県民と共に歩む岡山の農の実現」にグループの総力をあげて取り組んでまいります。

同じ協同組合組織の一員として、よりよい地域社会づくりをめざし力強い運動を開いてまいりますので、何卒、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げ、新年のご挨拶いたします。



新年明けましておめでとうございます。



岡山県漁業協同組合連合会
代表理事長
奥野雄二

岡山県生活協同組合連合会の会員、組合員のみなさん、明けましておめでとうございます。

平素は本県水産業の振興につきまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと未曾有の災害の年でありました。特に史上最多の上陸数を記録しました台風は全国的に猛威をふるい、本県におきましても主要水産業である「のり・かき養殖」は大きな被害を受けました。

また永年にわたる漁獲量の減少と水産輸入物の増大で魚価の価格破壊を招き、本県に関係の深いのりに関しては、政府がの

りのIQ枠のグローバル化の方針を打ち出し不安を招いております。さらに、異常な石油の値上り等、まさに水産業は七難八苦の状況にあります。

昨年発表されました第11次漁業センサスによりますと、漁業就業者数は23万9千人と減少の一途をたどり、しかも高齢化しております。政府は水産物自給率65%まで引き上げる計画を打ち出しておりますが、現在のところ難しい状況であります。魚離れが進む中、本県も積極的に魚食普及活動を行っております。昔から岡山の浜に伝わる料理を復活、普及させる為、資料を收集し、今春にはこれらをまとめて小冊子にする予定です。

日本は世界に冠たる魚食文化を築いてきた歴史と文化があります。我々は後の世に継承していく義務があります。そして漁業関係者一丸となって努力して参る所存ですので、皆さまのご理解、ご支援、ご協力をお願い致します。

終わりになりましたが、今年が良い年でありますよう、また、皆さまのご多幸、ご健勝を祈念しまして新年の挨拶とさせて頂きます。

あ い さ つ

体代表のみなさま



岡山県森林組合連合会
代理理事長
井 手 紘一郎

新年明けましておめでとうございます。

新年あけましておめでとうございます。

岡山県生活協同組合連合会の会員・組合員の皆様方には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

生活協同組合の皆様方には、信頼される事業と活動を通じて、自立した市民の協同の力で、人間らしくいきらしを創造し、持続可能な社会の実現に向け、努力されておられますことに対し深く敬意を表する次第であります。

昨年を顧みますと、初夏から晩秋にかけ幾多の台風の襲来がありました。被害に遭われた方々に謹んでお見舞いを申し上げます。岡山県の森林におきましては

10月20日の台風23号により県北部を中心につき、ヒノキ林5千5百ヘクタールが一瞬にして倒れる大被害が発生しました。このまま放置されれば土砂崩れ第2次災害の発生も必至であり、早期復旧が是非とも必要です。

このような中、我々森林組合系統いたしましては、今後、森林の治山・治水等の公益的機能の発揮に向け、森林整備に取り組み、恵み豊かな森林に戻ることを期待し、被害跡地の復旧に向け精一杯努力する所存でございます。

皆様方の森林・林業へのより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、岡山県生活協同組合連合会の益々のご発展と組合員の皆様方のご多幸を祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。

新年明けましておめでとうございます。

新年明けましておめでとうございます。私ども労福協の活動に、日ごろよりご理解と支援をいただき感謝申し上げます。

岡山県労福協は、1969年3月に設立され、今年で36年になります。一昨年秋の中国労働金庫への統合を機に、労福協が労働福祉事業会館のかなりの部分を岡山労働金庫（当時）から購入して、管理運営を始めました。

駐車場完備・廉価な料金・高速道も含めたアクセスの良さ、と3拍子そろって、会議室の利用度が少しづつ上がっています。「この会館を県内の労働者福祉運動の拠点としたい」という、私たちの願いが実りはじめました。

昨年5月26日には第28回定期総会を開催し、2004年度の活動方針を決定しました。前年度より取り組んでいる地区労福協の体制整備や「労福協あり方委員会」の答申内容の具現化について、今年度は、着実に動き始めています。

改正「消費者基本法」の成立を受けて、生協連の皆さまが、岡山県の条例改正に向けて熱心に取り組んでおられることに敬意を表します。今年も、生協連に結集する各生協や組合員の皆さまが、充実した生協活動をすすめていかれることを期待しています。

私どもも、皆さんと連携を取らせていただきながら頑張っていきますので、変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



(社)岡山県労働者福祉協議会
会長
岡 本 和 子

新 年 の ご あ い さ つ

友 誼 団 体 代 表 のみ な さ ま

新年明けましておめでとうございます。

岡山県社会福祉協議会
会長

定 金 聰

私ども社会福祉協議会活動に、日頃より各別のご理解とご支援をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、長引く経済不況と不安定な雇用情勢の下、社会福祉・社会保障制度の改革と見直し、市場競争原理の導入と営利企業の参入、補助金削減・税源移譲等の三位一体改革などが急速に進められています。これら大きな改革が進められている一方、地域社会では価値観の多様化などを背景に近隣のつながりがより一層希薄化し、今までの高齢者介護や子育て支援、障害者の自立生活支援等の問題に加え、児童虐待や家庭内暴力、ひきこもりなど新たな社会問題が生じてきております。

私たち社会福祉協議会は、從来から住

民参加による地域福祉活動に取り組んでおりますが、今まさにその原点を見つめなおし、それぞれの地域がかかえている福祉ニーズと地域がもつ福祉力の実情に応じた創意と工夫により、きめ細かな見守り・助け合いのネットワークづくりに取り組んでいくことが急務になってきております。

本会の基本理念“県民誰もが人として尊厳を持って、住み慣れた家庭や地域のなかで、その人らしい自立した生活が送れる地域社会”の実現に向け、「県民主体及び県民参画を基本とした福祉コミュニティづくり」に努めていく所存です。その際、より一層のご支援ご協力ををお願いいたしますとともに、岡山県生協連の今後ますますのご発展と会員皆さまのご健勝を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年明けましておめでとうございます。

岡山県婦人協議会
会長

水 野 三重子

新年あけましておめでとうございます。生協連の皆様の日頃のご活躍に、深く敬意を表すると共に、食品の安心、安全をかけて諸事業に取り組んでおられることに、大きな声援を送りたいとおもいます。

2005年は変革の年であることは間違ひありません。市町村の合併は本格的に進み、新しい市、新しい町が誕生します。はたしてこれらの新市、新町が私達の夢と希望をかなえてくれるまちになるのでしょうか。

少子・高齢社会はまだまだ進みます。景気の低迷が依然として続く中で、私達を取り巻く社会事情は更にきびしさを加えるのではないでしょう。例えば介護保険の見直しは、今ま

でのように安い料金でサービスが受けにくくなることは確実です。又、核家族化が進む中で、子が親の面倒を見ることも難しくなります。人と人との絆がうすれる社会では、となり近所の支え合いのシステムも崩壊しようとしています。不安と孤独な老後、働いても働いても希望のない若い世代、考えれば考える程大変なことになりそうです。

新しい年を迎えたのですから、泣き言を言うのは止めます。気を取りなおして新しいまちづくりに積極的に参加しようではありませんか。子供は元気で愛らしく育ち、大人はいきいきと充実して暮らせるまち、老人は心静かに物心共に豊かに暮らせるまちを私達一人一人がまちづくりに参加することで創ろうではありませんか。

岡山県生協連が参加する

ネットワーク紹介

岡山県消団連〔岡山県消費者団体連絡協議会〕

結成…1987年10月19日、県下12団体、47名の代表が出席して結成総会が開かれた。

構成団体…13団体で構成、各団体より2名以内の幹事を選任、隔月定例で幹事会を開催。

代表幹事…4団体より4名が代表幹事を務めている。

構成団体名

JA岡山県女性組織協議会

〔代表幹事:小林 旬子〕

おかやま酪農業協同組合女性部

岡山県母親連絡会

青年法律家協会岡山支部

〔代表幹事:近藤 幸夫〕

岡山県労働者共済生活協同組合

岡山県青年団協議会

岡山県労働者福祉協議会

〔代表幹事:枝木 俊彦〕

生活協同組合おかやまコープ

倉敷医療生活協同組合

岡山県生活協同組合連合会

〔代表幹事:吉永 紀明〕

三井造船生活協同組合

岡山医療生活協同組合 事務局…岡山県生活協同組合連合会内

新日本婦人の会岡山県本部

主な取り組み

岡山県消費者大会、消費者月間学習講演会などを主催している。

税・年金・社会保障、食の安全、地球環境保全、食料・農林漁業問題、医療・福祉・介護、消費者政策・権利問題など多岐にわたる課題をかけ、年間を通して学習と交流を重ねている。

最近は、食の安全、消費者政策に関する「法律」「条例」の見直しなどで、広く関係団体と連携して取り組んでいる。

岡山県協同組合連絡協議会

農業協同組合、漁業協同組合、森林組合、生活協同組合等の岡山県に所在する各種協同組合が、運動相互の連絡・提携、共通課題の実行及び全国の協同組合運動並びに海外協同組合運動との連携を図ることを目的に、1996年(平成8年)7月8日に結成された。

以来、毎年、国際協同組合デー(7月第1土曜日)を記念して、この時期に講演学習交流会を開催し、親睦を深めている。

(財)おかやま環境ネットワーク

当ネットワークの役割として次の三つをかけている。

- ①さまざまな立場の団体・個人・学識経験者が集まり、地域の自然環境や暮らしに関する調査・研究をおこなう。
- ②県内の環境情報センターの役割を担い、政策提言をおこなう。
- ③県民・団体に環境情報の収集と提供を行い、環境活動の人材養成と団体育成のために支援活動をおこなう。

《構成》…04年11月末現在

個人84、団体35、法人128=(公益法人4、生協6、企業118)

岡山県労働者福祉協議会

《基本理念》

“全ての労働者と家族が安心して働き、住みづけたい活力ある地域社会や街づくりに積極的に参加し、思いやりや人の心を大切にする福祉社会をつくる”

《構成団体》

福祉事業団体

岡山県生協連ほか3団体

地区労福協

岡山・倉敷など10地区

労働団体

連合岡山など4団体

岡山県民平和のつどい実行委員会

1982年にニューヨークで開催された第2回国連軍縮総会(SSDⅡ)に参加した人たちの呼びかけで結成された。

以来、毎年「県民平和のつどい」として企画・主催し、これまで連続23回を数えている。

構成団体

- ・岡山県婦人協議会
- ・岡山県青年団協議会
- ・岡山県原爆被爆者会
- ・岡山市原爆被爆者会
- ・岡山合唱団
- ・岡山のうたごえ協議会
- ・生協おかやまコープ
- ・岡大うたう会「みみんこ」
- ・岡山県生活協同組合連合会(事務局)

ピースリレー(市民平和行進)実行委員会

核兵器の速やかな廃絶と戦争のない平和な世界を求めて、歩くこと・集うこと・語り合うことを通じて、その心を多くの市民に伝え、自治体の協力と支援をいただきながら、ヒロシマ・ナガサキにつなぐ取り組みをすすめている。

構成団体

- ・岡山県婦人協議会
- ・岡山県青年団協議会
- ・岡山市原爆被爆者会
- ・岡山合唱団
- ・岡山県生活協同組合連合会

国・県行政・議員と情報の交換

●石井 正弘岡山県知事と懇談【1月21日（水）】



↑ “作州黒”なかなか好評・・「うれしいですね」と・・

懇談では、災害協定と実地訓練の様子、マイバッグ持参運動の取り組み、食の安全行政の充実、消費者保護基本法改正のこと、地産地消の取り組み、生協が取り組んでいる「わたしたちのまち調べ」「まちづくり」など、短時間でしたが、話題は多岐におよびました。

●県民生活課などとの定期懇談会【2月12日（木）】

県民生活課との懇談会

岡山県生活協同組合連合会



↑「要望」へ「回答」をされる森脇課長



↑懇談会では、昨年10月8日に提出していた「県への要望書」に対しての回答をいただき、意見交換を行いました。〔要望項目16ページに掲載〕

●中四国生協・行政合同会議が岡山で開催【9月1日（水）】



↓報告される県消費
生活センター
佐藤秀樹相談課長

↑開催県として挨拶をされる本田茂伸副知事

●岡山県議会議員のみなさまと懇談会の開催【12月8日（水）】

テーマは「最近の消費者問題と消費生活条例」。

環境、介護事業などをめぐる状況について会員生協から報告がされた後、消費者被害の多様化、複雑化のもとでの「消費者の権利の確立、消費者の自立支援は、法律や条例に明記されることが大切」などのことについて生協からの報告を中心に情報交換を行いました。



↑挨拶をされる戸室敦雄議員

●県の消費生活条例改正に関する行政担当事務局と懇談会を開催【12月17日（金）】



↑消費者基本計画を策定しなければならないものとすることを
改正条例に規定してほしいなどの要望が出された

行政関係の方々には、台風被災の対応で大わらわの中でしたが、本田副知事をはじめ、生活環境部県民生活課、消費生活センターよりご出席いただき、ご挨拶やご報告を賜りました。

会議では、厚生労働省のご挨拶、日本生協連の報告について、「消費生活条例」の見直しに関する取り組みの進捗状況など、中四国各県の消費者行政のあり方について、生協の役職員と情報・意見交換を行いました。

懇談会は、県の消費生活条例の改正に向けたパブリックコメントの募集にともなって開かれ、県行政（県民生活課）より2名、消費者からは、おかやまコープの組合員、県消団連（労福協）、県生協連より12名が参加しました。

県は、「県民の暮らしの安全の確保に向けて、条例の基本理念を消費者の保護から消費者の権利尊重と自立支援に転換し、新しい権利の体系に沿って、消費生活条例を時代にふさわしいものに改正することを検討しており、平成17年2月定例会上程を目指し、広く県民の意見を伺う」としています。

組合員、職員、役員が交流し学び合って

●県生協連・単協役員研修交流会【1月】



↑県民生活課より挨拶をされる小山茂樹さん



↑日本生協連伊藤専務理事
「日本の生協運動の近未来」と題し、生協の存在価値、中でも組織として幹部として果たし続けていく役割の重さと負うべき責任を語られた。



↑ 「オセラ」編集長 青山 融さん！
おかげやま弁 再発見
軽妙な岡山弁に笑いころげる人も……

●会員生協の職員が参加して「職員研修交流会を開催【2月】

「明るく元気に仕事をするために」 ～メンタルヘルス・予防と支援を考える～



↑心に余裕をもたせられる
日常の暮らし方が大切…

講師は谷原弘之さん
(林精神医学研・臨床心理士)



●医療部会が組合員活動交流集会【10月】

「助け合い、ささえあって行政とともにつくるまちづくり」



津山・岡山両医療生協とおかやまコープ が報告

4 分散会で交流を深めた。

—里瀬さん（津山医療生協）

黑馬 C70 (洋田区原工場)

●医療部会で「非常勤理事研修交流会」を開催【12月】

県内の三つの医療生協の非常勤理事さんたちが合同で初の交流会をもちました。

初日は二つの講演で「医療生協とは?」について日生協医療部会事務局長の藤谷恵三さん、「生協の理事の責任と役割について」倉敷医療生協理事長の片山 健さんが話されました。

二日目は、各生協の活動報告につづき、4分散会で交流を深めました。

両講師の話しが分かりやすく大変勉強になった、報告、分散会も他生協の活動の様子が分かり参考になったなどの感想が寄せられました。



←開会の挨拶をする山本豊生協連理事

←講演中の片山健理事長

県生協連の取り組み

トピックス 2004

たすけあい

ささえあつて

●相次ぐ台風被害にボランティアが大活躍！

8月末の台風16号は、玉島協同病院やその周辺に多大な被害をもたらしました。

こうした事態を受けて、延べ400人の医療生協のボランティアが被災者の復旧支援に入りました。

医療生協の理念=助け合いの精神が発揮された活動でした。

【倉敷医療生協】



↑医療生協のボランティアが連日かけつけて…



↑災害復旧支援本部に集まったボランティア

●サロン・食事会、小物づくりなど 地域「憩いの場」で夢は大きく！

岡山医療生協では、地域と医療生協の連携を深めたいと、支部のたまり場・拠点づくりをすすめ、サロンや食事会、小物づくり、班会などを行っています。地域の「憩いの場」となるよう夢は大きく膨らんでいます。



●チャリティバザーで収益金は 玉野市へ寄付

家庭会が毎年地域振興行事として取り組んでいる「チャリティバザー」が、10月2日レクレセンターで行われました。

入場者は約2,100名。収益金は玉野市へ寄付し、地域福祉のために活用されています。

(今年26回目で収益金の累計額は約1,390万円)

【三井造船生協】

●組合員どうしの助け合いを広げて 共済キャンペーンを展開中！



全国の生協の組合員どうしの助け合いの制度として生まれたCOOP共済「たすけあい」が20歳となりました。

多くの人に「たすけあい」の良さを知ってもらおうと共済キャンペーンに取り組んでいます。

相次いで台風で被害にあわれた加入者に、迅速な対応でお見舞金をお届けするなど、大変喜ばれています。

【おかやまコープ】



会員生協のとりくみ

●「あなたのお金がねらわれている!」消費者問題の学習

架空請求や悪質な訪問販売など消費者被害が多発する中で、消費者被害の手口や実情を学び、被害にあわないための学習をすすめています。

被害にあった状況を出し合いながら、被害を防ぐための消費者としての行動などについて、ワークショップを通じて、参加者同士で交流しながら学びました。

こうした学習を通して、県消費生活条例の改正につなげていきます。

【おかやまコープ】



●平和写真展に、約1000人が来場



日～12日の3日間、倉敷センター街ピオス憩いの広場で、平和写真展を行いました。写真展には約1000人の方が来場。熱心に鑑賞していました。

●見て・触って・確かめよう！

「重点商品展示・学習・交流会」を開催

日頃は、カタログでしかみることのできない商品を、実際に自分たちの目で「見て・触って・確かめよう」と商品の展示会を開催。

羽毛ふとん、カシミアマフラー、台所用品など実際に実物に触れることで、商品の良さを確かめました。また、お試しメイクでちょっとおしゃれも体験しました。 【おかやまコープ】



●池田香代子さんを迎えて「憲法」学習会を開催



お迎えして講演会を開催しました。

当日は、会場が満席となる249人の参加で、憲法を学び広げる活動に大きな弾みとなりました。

【岡山医療生協】

改憲論議が強まる中、「平和憲法を守ろう」は、医療生協にとっても大きなテーマです。昨年の6月23日には、作家で翻訳家の池田香代子さんを

●第1回「JFEコープまつり」が盛大に開催



川崎製鉄とKKKの合併後、初の新生「JFEコープまつり」を5月22日に開催。組合員、地域の方々約8000名が来場し、楽しいひと時を過ごしました。

●「ヘルスアップチャレンジ」に

1318人が参加

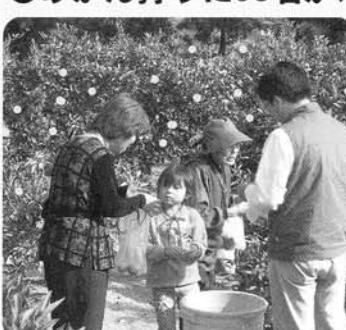


合員や住民の中に広め、定着させようと「ヘルスアップチャレンジ」を取り組みました。

健康はみんなの願い。病気治療も大切ですが、予防が大事。

岡山医療生協では保健活動の柱として、健康新習慣を組

●みかん狩りに93名がバス旅行



美術館見学の後、みかん園へ。

全員袋に一杯のみかんを詰めていました。

【津山医療生協】

安心して暮らしあげた

組合員の要望に応えて

施設リニューアル・事業の推進

●みずしま診療所が診療を開始【倉敷医療生協】



↑明るい日差しをいっぱいに受けて

10月4日、組合員と地域の人々の期待を集めて「医療生協みずしま診療所」が診療を開始しました。太陽の光がいっぱいに差し込む明るい診療所です。

診療初日には、大勢のボランティアが来診の方々の案内にあたりました。

●学びと成長のサポート事業を拡大【岡山大学生協】

従来の公務員試験対策講座に加え、新たに教員採用試験対策講座、法科大学院試験対策講座、パソコン総合サポート講座を開講し、多くの学生から合格の連絡を頂いています。

パソコン総合サポート講座は、「新入生の受講生」に「先輩学生が講師」となり、共に成長しています。



●岡山大学会館喫茶をリニューアル【岡山大学生協】

岡山大学生協は、創立10年を迎えました。

組合員への剩余金(利益金)還元として、大学会館喫茶をリニューアルしました。



改装前はふる〜くて、くら〜い雰囲気でしたが、キッチンの様子もガラリと変わった…『雰囲気が良い』と学生さんの“評価”もばっちり!

●創立45周年を機に新たな事業展開へ【県労済生協】



↑鏡開きの様子

1月29日に、記念の「担当役員研修会」「祝賀会」を開催しました。岡山県をはじめ、26名のご来賓と約200名のご参加による祝賀会は盛会となり、この節目を新たに出発点として今後の事業展開にまい進することを全体で確認しました。

2005年のおもな行事予定

1月	●県生協連・単協役員研修会 ●理事会	●岡山県知事との懇談会 ●組合員活動交流集会	7月	○岡山県協同組合連絡協議会交流会 ○第24回岡山県民平和のつどい ○ピースリレー(市民平和行進)
2月	●生協職員研修交流会 ●県行政関係部局との定例懇談会 ○県消団連幹事会		8月	●理事会
3月	●県生協連ホームページ立ち上げ ○第2回環境フォーラム(おかやま環境ネット) ●理事会		9月	○県消団連幹事会 ●理事会
4月	○県消団連幹事会		10月	●県への「要望書」提出 ○第19回岡山県消費者大会 ●医療部会組合員活動交流会
5月	●理事会 ○消費者月間学習講演会		11月	●理事会 ○県消団連幹事会
6月	●第46回県生協連通常総会 ○県消団連幹事会		12月	●県議会議員のみなさまと懇談会

●=県生協連主催 ○=県生協連に事務局を置いている団体の取り組み

岡山県生協連は

岡山県に以下のことを要望しています

〔平成16年10月13日提出〕

1. 生協の育成・強化

- ① 生協の運営指導委託料の引き上げ
- ② 資金貸付制度の維持と借り入れ金利の引き下げ

2. 消費者行政

- ① 消費生活センターの相談窓口の充実
 - ・相談窓口の時間延長及び土日の開設
 - ・県内市町村の相談業務充実への支援
- ② 県の「消費生活条例」を消費者基本法に則り改正を
 - ・消費者の権利などを盛り込むこと
 - ・改正にあたり、県民・消費者の意見反映に手段を尽くす
 - ・改正の協議に関する情報は、県民に分かりやすく提供する
 - ・改正検討には時間を確保し、迅速に決定しないこと
- ③ 危害情報や啓発資料の提供など、県行政（消費生活センター）と連携できることがあれば、生協として対応したい。

3. 食の安全

- ① 既存の基本方針や推進プランは、県民のニーズや状況変化に即応して検討・修正されること
- ② 食中毒情報や各種食品検査の結果等の情報を迅速に提供を
- ③ 輸入野菜など表示についての流通事業者への指導の徹底を
- ④ 振興局の再編で食中毒対応や食品衛生監視活動等の施策が現状より後退することがないこと
- ⑤ トレーサビリティシステム推進施策に、食の安全・安心の視点で指導・啓発指針を明示し、県の支援を
- ⑥ BSE検査は、県での検査継続と国に検査技術向上の要望を



↑要望書を手渡す吉永県生協連会長（右）と森脇県民生活課長

4. 災害対策

- ① 災害協定締結団体との定期協議と県民参加型の災害対策を

5. 環境対策

- ① 地球温暖化、ゴミ減量、マイバッグ持参運動など環境対策の市町村行政・企業・団体等への指導・支援を

6. 保健・医療・福祉・介護・少子対策

- ① 介護保険料・利用料の減免を含む援助制度
- ② 特養老人ホームの増設等の援助
- ③ 子どもの医療無料制度について、対象年齢を外来・入院とも就学前までとする制度改善を
- ④ 障害者の医療費助成制度を3級該当者まで拡大を

7. 産消提携、地産地消運動

- ① 食の安全・安心と食料自給率向上のためにも、生産者や産地の支援、消費者との交流などで地産地消の取り組み強化を

万一自然災害が発生したら…

自然災害が発生した時、ただちに物資を供給する協定が結ばれています。

協定を結んでいる自治体

●岡山流通情報懇話会 ⇄ 岡山県・岡山市

※岡山流通情報懇話会は、岡山県に本社を置くスーパーマーケットのグループです。
【事務局：岡山市大内田812 CMC本部内 ☎086-292-5252(代)】

生協では、生活協同組合おかやまコープと三井造船生活協同組合が加盟しています。

●おかやまコープ ⇄ 津山市

●三井造船生協 ⇄ 玉野市

TOPICS 2004

県内の

岡山県消団連のとりぐみ

●第18回岡山県消費者大会に13団体240名が参加【10月29日（金）オルガホール】

今回の消費者大会は「消費生活条例を自分たちの手で見直しを」をテーマに開催されました。

県消費生活センター所長の末金絹枝さんから、最近の消費者相談事例の特徴、注意点を中心に、岡山弁護士会の櫻井幸一弁護士（消費者被害救済センター運営委員会委員長）から、消費者基本法の成立と条例改正のポイントなどについてお話をいただきました。

岡山県消費者大会

主催／岡山県消費者団体連絡協議会



↑櫻井幸一弁護士



←大会宣言を読み上げる
JA県女性組織協議会の
小林徇子会長

架空・不当請求にまずは慌てないこと…末金絹枝所長

講演の後三つの団体から、以下のテーマで活動の報告がされました

倉敷医療生協・・・「健康づくりについて」

JA県女性組織協議会・・・「農は国の基・コメは命なり」

おかやまコープ・・・「食品表示の問題」

●「食の安全はどうなっているか」日和佐信子さんを迎えて消費者月間学習講演会を開催【6月】

消費者月間学習会

主催／岡山県消費者団体連絡協議会



↑消費者として、情報を選択する力が必要。
…と日和佐信子さん（雪印乳業社外取締役）

講演では、食品安全委員会は設置されたが、認知度はまだ低く、国民の健康保護を謳いながら、消費者の目線で参加する人がいないのは不十分。

基本法では、国民の健康保護が最も重要とされ、農場から食卓までの安全性確保が規定されたが、消費者が食の安全行政に関わっていくことが大切だ。

リスクコミュニケーションの当事者として情報交換に参画していく必要がある。

食の安全確保のルールやしくみはできつつあるが、安心はそのルールやしくみが信頼できるかどうかだ、事業者のコンプライアンスが必要、消費者として、情報を選択する力、情報集めの努力も大切などと話されました。

●「今なぜ 消費者保護基本法の抜本改正か」緊急学習講演会を開催【2月】

消費者保護基本法は、36年ぶりに改正され、今年の6月に「消費者基本法」として制定されました。

学習講演会はこれに先立って行われたもので、全国消団連事務局長の神田敏子さんより、「消費者の権利の確立」「消費者（団体）の自立支援と役割」「行政・事業者（団体）の責務」などをめぐって、通常国会への上程（案）が検討されているとの状況が話されました。

結果は、生協など消費者団体や日弁連などが要望していたことが基本的に盛り込まれたものとなりました。

「基本法の抜本改正か？」
・子さん 全県消費者事務局長
森田敏子



協 同 組 合・諸 団 体 と と も に

●第9回目の岡山県協同組合連絡協議会交流会が開催【7月6日（火）】 オルガホール

国際協同組合デーを記念して、県内のJAグループ、県漁連、県森連、JA県女性組織協、県農林水産部などから役職員40名が出席して行されました。

JA岡山中央会会長の村上 進通さんが「産業としての農の確立～消費者とともに～」と題して基調講演を、県生協連会長理事の吉永 紀明さんが「生協における地産地消運動の取り組み」について報告をされました。



↑自らの体験を重ね合わせ、農業・農村への想いを語られる村上進通会長

●岡山県民平和のつどいに約500人が参加【7月4日（日）】 オルガホール

ゲストに池田香代子さんを迎えて、「憲法の夢の子どもたち」と題して講演、「戦争放棄をうたった日本国憲法は決して時代に合わないとは思わない。世界中から戦争をなくすために、主権者である私たちが声をあげることが大事」などとよびかけられました。



↑世界がもし100人の村だったら・・・の池田香代子さん

会場・ロビーには、溢れんばかりに彩られた虹の旗・花、おかやまコープの組合員、岡山大うたう会「みみんこ」、県婦人協議会、被爆者会、岡山合唱団などがコーラス・踊り・寸劇・被爆体験語りなど持ち味を発揮して、躍動感いっぱいの盛り上がりとなりました。



●核兵器と戦争のない平和な世界の実現を求めて、 “ピースリレー（市民平和行進）”などの行動に大勢が参加【7月】

県内11日間にわたって幹線コースと10の地域コースで取り組まれ、7月26日に広島県に引き継がれました。

「イラクやアフガニスタンの戦争をやめさせたい」「地雷や劣化ウラン弾を使用させない」「臨界前核実験を含むすべての核実験をやめさせ、核兵器の廃絶を一刻も早く実現させたい」「被爆者援護」「平和憲法を守りぬきたい」などの思いを、歩くことを通じて、また、行進期間中は、お母さんや子どもたちの歌やお話による「つどい」を通して、アピールし、平和への想いをいっそう深くしました。

今年は特に、虹のバンダナ・虹の旗など平和グッズ・行進グッズも沢山つかれ、彩りも最高に達して、“明るく楽しく元気のよい”取り組みとなりました。



↑県庁正面の広場で・・・出発集会のようす



↑今年も地元の園児が行進を
迎えてくれました



協 同 組 合・諸 団 体 と と も に

岡山県生活協同組合連合会紹介



概況

1959年9月に創立総会を開催して設立された岡山県生協連は、当初17生協の参加でスタートしました。

現在、12の会員生協に、延べ64万7千世帯の組合員が加入する県内最大の消費者組織となっています。

購買生協は地域、職域の7生協、医療生協は3生協、それに労済生協と住宅生協で構成されています。

生協は、県民の生活の安定と生活文化の向上に努めており、組合員のくらしと地域社会にとってなくてはならない存在となっています。

代表者名 会長理事 吉永 紀明

会員数 12生協

会員総組合員数 647,745人 (2004.3.31)

会員総出資金 15,552,787千円 (△)

会員総事業高 82,213,000千円 (△)

設立登記年月日 1960年3月2日

役員数 (常勤理事) 1人
(非常勤理事) 13人
(非常勤監事) 3人

職員数 (定時) 1人

役員構成

会長理事	吉永 紀明	(おかやまコープ 理事長)
副会長理事	久保田 滋	(倉敷医療生協 専務理事)
副会長理事	堀川 貞徳	(三井造船生協 理事長)
専務理事	安場 靖	(常勤一員外)
理事	岡嶋清太郎	(岡山医療生協 専務理事)
理事	大山 裕一	(県学校生協 専務理事)
理事	大橋 武	(県労済生協 専務理事)
理事	伊丹 正和	(おかやまコープ 常務理事)
理事	上甲 啓一	(岡山大学生協 専務理事)
理事	佐伯 祐治	(生協JFEコープ 専務理事)
理事	佐々木正昭	(津山医療生協 専務理事)
理事	吉田 弘美	(おかやまコープ 理事)
理事	山本 康子	(倉敷医療生協 常務理事)
理事	北村このえ	(三井造船生協 理事)
監事	上村 昇	(岡山医療生協 常務理事)
監事	三橋 幸夫	(おかやまコープ 副理事長)
監事	名合 正壽	(本花滝生協 組合長)

会員紹介(設立期順)

岡山県学校生活協同組合

代表者名 理事長 岡本 和子
組合員数 13,268人
出資金 103,111千円
供給高 572,145千円
活動エリア 岡山県下公立、幼・小・中・高校職域(県下全域)

設立登記年月日

1949年8月22日

役員数(常勤) 1人 (非常勤) 15人 (監事) 5人
職員数(正規) 8人 (内2人出向) (パート) 1人
概略

岡山県学校生活協同組合は、県下公立学校・幼稚園・小学校・中学校・高等学校等、学校の教育関係職場に勤務される教職員を対象とした職域生協で組合員より拠出された出資金により運営される事業体です。

学校生協は、1949年に発足以来、組合員の皆さんとともに幾多の困難を乗り越えながら、今日まで発展してきました。今、私たちをとりまく状況は、先行き不透明で、不安をかかえたまま推移しています。こういう時だからこそ「平和やくらしをまもる生協運動」の果たす役割がますます大切になってきています。今後とも、学校生協事業を魅力あるものに変革しながら、生協本来の活動に精進し、組合員の福利厚生を担う事業体として更に活動を続けてまいります。



本花滝生活協同組合

代表者名 組合長 名合 正壽
組合員数 94世帯
出資金 4,700千円
供給高 8,334千円
活動エリア 芳井町花滝地区
設立登記年月日

1950年6月18日
(生協法上の登記)

役員数(非常勤) 7人
(監事) 3人
職員数(正規) 0人

概略

本組合は、元産業組合法と定款第一章第1条の目的に依り設立し爾後経営維持し大正12年2月本花滝利用組合に組織変更、昭和25年、本花滝生活協同組合に改組し現在に至っています。本組合は、協同互助の精神に基づき生活の文化的、経済的、改善を計ることを目的として活動しています。



三井造船生活協同組合

代表者名 理事長 堀川 貞徳
組合員数 24,147世帯
出資金 407,648千円
供給高 5,898,000千円
活動エリア 玉野市、瀬崎町、倉敷市の一部
職員数(正規) 77人
(b) 定時) 101人
概略

1950年11月職域生協として設立。以来52年『人と人のつながりを大切にし、健康で心豊かなくらしの実現をめざします』の理念のもと、現在では職域ばかりではなく、地域組合員のくらしを支える協同相互組織として、店舗(玉野市に5店舗)および、共同購入での供給事業、葬祭事業を中心とした利用事業や共済事業を開発。

また、組合員活動では1956年に結成した家庭会(地域組合員組織)を中心に、環境、福祉へ積極的に取り組み、中でも家庭会チャリティバザーは連続25年間毎年収益金を玉野市の社会福祉事業へ寄贈する(累計で1,388万円)など、まさに地域社会にしっかりと根ざした活動となっています。

これら、事業及び組合員活動の歴史を礎に、組合員による、組合員のための生協、また人と環境にやさしい地域社会の発展に貢献できる生協づくりを進めてまいります。

暮らしの中に、そして地域の中に生協がある。— こういう生協をめざして



岡山医療生活協同組合

代表者名 理事長 浪尾 淑子
組合員数 50,275人
出資金 1,570,497千円
事業高 6,317,070千円
活動エリア 岡山県下一切
設立登記年月日

1952年10月21日
役員数(常勤) 9人
(b) 非常勤) 29人
職員数(正規) 541人
(b) 定時) 173人

概略

1952年に設立された当生協は、現在、組合員は5万人を超え、出資金も15億3000万円となりました。

当生協では、地域で元気に過ごし、必要となったときには、いつでも安心して医療や介護が受けられるようにと活動をすすめています。昨年9月に、2つめの在宅福祉センター「福浜」を開設しました。病院・診療所では、安全・安心・信頼の医療をさらにすすめようととりくんでいます。

このように施設、医療内容の充実に努力すると同時に、ヘルスアップチャレンジ、青空健康チェックなどの地域ぐるみの健康づくりや、配食サービス・サロン・家庭でのゴミ出し支援など、お互いに支え合い、助け合って安心して住み続けられるまちづくり・健康なまちづくりをすすめています。



倉敷医療生活協同組合

代表者名 理事長
片山 健
組合員数 63,498人
出資金 1,432,033千円
事業高 9,589,462千円
活動エリア 岡山県全域
設立登記年月日 1955年2月
役員数 (常勤) 11人
(非常勤) 18名 (監事) 5人
職員数 (正規) 768人 (定時) 296人
概略

倉敷医療生協は、総合病院水島協同病院を中心として2つの病院と6医科診療所、7歯科診療所、老健施設、3訪問看護ステーション、2ヘルパーステーション、デイサービスセンター、在宅介護支援センターなど機能が違った施設をもち、医療・介護・福祉のネットワークづくりをめざしています。医療生協の『患者の権利章典』の実践としてカルテ開示や組合員参加の「院所利用委員会」を中心に、かかりやすい事業所づくりにもとりくんでいます。

昨年10月には、安心して療養できる環境整備、高まる地域医療ニーズへ対応した「夢 プラン21」のメイン事業のひとつである医療生協みずしま診療所を開設いたしました。本年は、総合病院水島協同病院のリニューアル成功にむけて真価が試される年です。

いのちと健康を守り豊かなくらしの実現をめざして、引き続き全力をあげて参ります。



岡山県労働者共済生活協同組合

代表者名 理事長
真鍋 勝幸
組合員数 208,716人
出資金 1,100,371千円
契約件数 476,637件
契約口数 46,146,373口
給付件数 18,876件
給付金総額 30億2,973万円
活動エリア 岡山県一円
設立登記年月日 1961年4月1日
役員数 (常勤) 2人 (非常勤) 26人
職員数 29人
概略

岡山労済生協(全労済岡山県本部)は、営利を目的としない保障の生協として、岡山県と厚生労働省の認可を得て運営しています。

事業内容は、生命系の遺族保障や入院保障、損害系の住宅保障や自動車事故補償などを通じ、組合員の皆さまの「安心とゆとりある暮らし」を目指して事業を進めています。

10月より「自動車共済」において、掛金の引き下げや割引制度・無料ロードサービスの実施などの改訂を行うとともに、12月より「終身医療保障」・「終身介護保障」の発売など、組合員の皆さまの声を更に反映した制度・保障体系・サービスの充実を図ってまいりました。

また、度重なる台風の襲来に対しまして、共済生協の真価を発揮すべしとの基本認識に立ち、迅速・丁寧・均質に心がけ、台風16号・18号・21号・23号による被災者対応を行いました。また、こうした災害における保障の必要性から、改めて組合員への推進を取り組んでいます。

今年度も、より一層社会的役割を果たしながら、保障の生協としての理念と事業の推進に向け、組合員の皆さまの負託に応える健全な事業運営と保障ニーズに応える事業展開に努めてまいります。



生活協同組合おかやまコープ。

代表者名 理事長
吉永 紀明
組合員数 259,561世帯
出資金 10,669,921千円
事業高 50,364,165千円
活動エリア 岡山県一円
(定款エリア)

設立登記年月日 1956年6月13日

役員数 (常勤理事) 7人 (非常勤) 25人
(常勤監事) 1人 (監事) 5人

職員数 (正規) 596人 (定時) 1,980人
概略

おかやまコープは、岡山県民の26万世帯が加入する県下最大の消費者組織です。

共同購入と店舗での食品や日用品を供給する事業を軸に、たすけあい共済や火災共済等の共済事業、在宅介護を支援するホームヘルプサービス事業を行っています。

品質管理の国際規格ISO9001や環境ISO14001を取得しています。また、産直牛肉やかきのトレイサビリティシステムを導入するなど安全・安心な商品の提供や地産地消の活動を進めています。

また、商品トレイの回収、電気ダイエットコンクールなどの誰でも参加できる環境保全活動や、「子育てひろば」や「ふれあい・いきいきサロン」などをひろげていく福祉ボランティアの養成にも取り組んでいます。

関連会社のコープP&Sでは、旅行・飲食・フィットネス事業の他、葬祭や保険などのあっ旋事業も行っています。



セイレイ工業岡山地区生活協同組合

代表者名 理事長
飯田 敏英
組合員数 552名
出資金 552千円
供給高 22,778千円
活動エリア 職域(工場内)
設立登記年月日

1965年1月25日

役員数 (常勤) 0人 (非常勤) 10人

職員数 (正規) 1人 (定時) 0人

概略



当生協は新岡山港の近くの「ヤン坊マー坊」でおなじみのヤンマー農業機械の総合機械メーカー、セイレイ工業の敷地内で活動しています。

組合員数550余名と限られた範囲での活動であり、これから組合員の減少が予測される中、安定経営および、組合員の要望にそった活動が出来るよう一層の努力が問われています。

組合員は、夏は岡山桃太郎祭りに揃いのハッピ姿の踊り連として、地元岡山の行事に積極的に参加しております。

秋には、毎年県下多数の小学生に工場見学に来て頂いております。業務の多忙な時期に案内役も大変ですが、元気いっぱいの小学生の“ありがとう”にさえられがんばっています。

一年間を通じての地域の公園や遊歩道のクリーン作戦も回を重ね、これからも地域とのつながりを大切にしていきたいと思っております。

紹介 (設立期順)

津山医療生活協同組合

代表者名 理事長
中西 孝
組合員数 6,310人
出資金 82,024千円
事業高 244,685千円
活動エリア 県下全域
(主には、津山市と津山市周辺町村)
設立登記年月日

1980年8月12日

役員数 (常勤) 1人 (非常勤) 19人 (監事) 4人
職員数 (正規) 14人 (定時) 19人
概略

津山医療生活協同組合は設立以来、患者様・利用者様の権利を尊重し、親切で良い医療と介護を行い、働く人々の命と健康を守るために全力を尽くしています。又、津山医師会・自治体とも協力して地域の健康づくりを進めています。

現在診療所、訪問看護ステーション、2居宅介護(ケアプラン)事業所、ヘルパーステーション、デイサービスなど医療・保健・介護のネットワークづくりの輪を広げ、地域になくてはならない在宅生活支援総合センターとして、組合員・地域住民が安心して暮らせる「あかるいまちづくり」を進めています。



生活協同組合JFEコープ

代表者名 理事長
戸田 裕史
組合員数 11,952世帯
出資金 107,635千円
供給高 765,047千円
活動エリア 倉敷・総社市
他周辺市町村一帯
設立登記年月日

1987年11月12日

役員数 (常勤) 2人
(非常勤) 23人
(監事) 3人
職員数 (正規) 23人
(定時) 24人
概略

製鉄所内での売店や食堂を持たず、チラシによる共同購入を中心に供給している、全国的にもユニークな職域生協です。

事業内容も食料品、日用雑貨のほか衣料関係の展示会をはじめ、コープ共済や住宅リフォーム、ガソリン、クリーニング等多岐にわたっています。

又、調理、手芸などのレク活動や趣味のサークル活動だけでなく、さらに当生協まつりの自主企画や同新聞の自主製作など、組合員活動の巾の拡大・質の向上に努め組織の活性化をはかっています。



岡山大学生活協同組合

代表者名 理事長
保田 立二
組合員数 14,514人
出資金 191,268千円
供給高 1,619,925千円
活動エリア 岡山大学津島・鹿田キャンパス
設立登記年月日

1995年2月20日

役員数 (常勤) 1人
(非常勤) 28人
(監事) 4人
職員数 (正規) 20人
(定時) 90人
概略

岡山大学生活協同組合は、岡山大学の学生・教職員の手によって1994年12月に設立されました。

大学生協は、大学の福利厚生事業の担い手として、学生・教職員組合員により品をより安く、より便利に提供するとともに、教育・研究の場としての大学にふさわしい様々な事業を行っています。

岡山大学では、津島キャンパスのマスカットユニオン・ピーチユニオン及び鹿田キャンパス医学部記念会館という大学の福利施設の中で、構成員のニーズにもとづいて、購買・書籍事業、旅行事業、食堂事業、共済事業など幅広い事業に取り組んでいます。



協同組合の定義と価値

《定義》

協同組合は、協同で所有し民主的に管理する事業体を通じ、共通の経済的・社会的・文化的ニーズと願いを満たすために自発的に手を結んだ人びとの自治的な組織である。

《価値》

協同組合は、自助、共同責任、民主主義、平等、公正、そして連帯の価値を基礎とする。

それぞれの創設者の伝統を受け継ぎ、協同組合の組合員は、誠実、公開、社会的責任、そして他人への配慮という倫理的価値を信条とする。

生協の21世紀理念

自立した市民の協同の力で
人間らしい暮らしの創造と
持続可能な社会の実現を

岡山県生活協同組合連合会

事務所

岡山県岡山市下石井一丁目 1番 3号
日本生命岡山第二ビル 8階
TEL (086)221-4301
FAX (086)221-4343
E-mail : coop701@okayama-coop.or.jp